

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3099111号
(U3099111)

(45) 発行日 平成16年3月25日(2004.3.25)

(24) 登録日 平成15年10月29日(2003.10.29)

(51) Int. Cl.⁷

F 2 4 C 7/04

F I

F 2 4 C 7/04

B

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 実願2003-270052 (U2003-270052)

(22) 出願日 平成15年7月8日(2003.7.8)

(73) 実用新案権者 500187708

鄭林 月宮

台湾台南市西門路1段643号

(74) 代理人 100075247

弁理士 最上 正太郎

(72) 考案者 鄭林月宮

台湾台南市西門路一段643号

(54) 【考案の名称】 電熱調理器

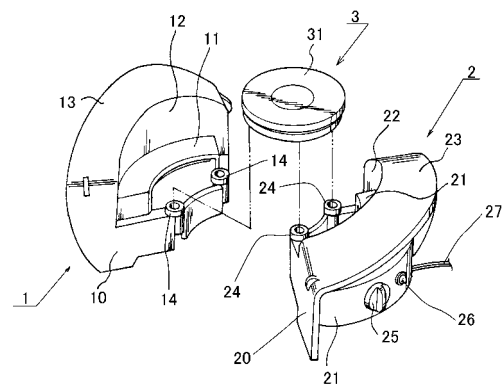
(57) 【要約】

【課題】

安全な電気調理器を提供する。

【解決手段】

4本の連結脚を備えた本体部を具備する電熱装置と、電熱装置を支持する1対の台座であって、それぞれ、両端部に対をなして設けられる支脚板と、電熱装置の連結脚をそれぞれ受け入れるための連結脚挿入孔を有する各一对の電熱装置支持部と、連結脚をその挿入孔に挿入し、電熱装置と一对の台座を組み合わせた状態において、電熱装置と同芯に、その上面とほぼ同等の高さに設けられる扇形の中台と、中台より外側でかつそれより高い位置に、電熱装置と同芯に設けられる扇形の天板と、中台の外縁と天板の内縁との間を連結する連結壁と、とからなる上記一对の台座と、上記一对の台座の一方に設けられる、通電スイッチ(26)を含み、その末端が外部電源に接続されたとき、上記電熱装置に給電し得る電気回路とにより構成されること



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

4本の連結脚を備えた円盤型の本体部(31)と、本体部(31)に設けた電熱体と、連結脚を通じて電熱体に給電する電気回路とを具備する電熱装置(3)と、
 電熱装置(3)(を支持するため、相対向して設けられる1対の台座(1, 2))であって、それぞれ、
 それぞれの両端部に対をなして設けられる支脚板(10、20)と、
 電熱装置(3)の連結脚をそれぞれ受け入れるための連結脚挿入孔を有する各一对の電熱装置支持部(14、24)と、
 電熱装置(3)の連結脚をその挿入孔に挿入し、電熱装置(3)と一对の台座(1、2)を組み合わせた状態において、
 電熱装置(3)と同芯に、その上面とほぼ同等の高さに設けられる扇形の中台(11、21)と、
 中台(11、21)より外側でかつそれより高い位置に、電熱装置と同芯に設けられる扇形の天板(13、23)と、
 中台(11、21)の外縁と天板(13、23)の内縁との間を連結する連結壁(12、22)と、
 とからなる上記一对の台座(2、3)と、
 上記一对の台座(2、3)の一方に設けられる、通電スイッチ(26)を含み、その末端が外部電源に接続されたとき、上記電熱装置(3)に給電し得る電気回路とにより構成されることを特徴とする電熱調理器。

10

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、電熱調理器、特に煮炊き時に噴きこぼれが生じてもショートなどの電気事故や火災が生じない安全な電熱調理器に関するものである。

【背景技術】

【0002】

ジュール熱を利用した電熱調理器には、例えば図6に示す電気ケトルや、図7に示した電熱器などが広く用いられているが、従来公知のものは、湯沸し又は煮炊き時に噴きこぼれが生じたとき、噴き出した熱湯あるいは煮汁が電気配線や電源ソケットにかかり、短絡事故や、感電事故、火災などを発生する危険性があった。

30

【0003】

然しながら、従来この種の危険性を防護するための改良策は提案されていない。電熱調理器に関する先行技術文献は以下の一件だけである。この文献も上記の問題点に関するものではない。

【0004】

【特許文献1】特開平08-327073号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

本考案が解決しようとする課題は、使用中、加熱された調理器内部の煮汁や茹で汁などの液体が噴きこぼれても、電気配線等にそれらが触れることがなく、短絡事故等が発生することがない安全な電熱調理器を提供することである。

40

【課題を解決するための手段】

【0006】

本考案は電熱調理器を、
 4本の連結脚を備えた円盤型の本体部と、本体部に設けた電熱体と、連結脚を通じて電熱体に給電する電気回路とを具備する電熱装置と、
 電熱装置を支持するため、相対向して設けられる1対の台座とにより構成する。

【0007】

50

而して、上記の台座を、
 それぞれの両端部に対をなして設けられる支脚板と、
 電熱装置の連結脚をそれぞれ受け入れるための連結脚挿入孔を有する各一对の電熱装置支持部と、
 電熱装置の連結脚をその挿入孔に挿入し、電熱装置と一对の台座を組み合わせた状態において、
 電熱装置と同芯に、その上面とほぼ同等の高さに設けられる扇形の中台と、
 中台より外側でかつそれより高い位置に、電熱装置と同芯に設けられる扇形の天板と、
 中台の外縁と天板の内縁を連結する連結壁と、
 からなる上記一对の台座と、
 上記一对の台座の一方に設けられる、通電スイッチを含み、外部電源に接続されたとき、
 上記電熱装置に給電し得る電気回路とにより構成する。

10

【考案の効果】

【0008】

本考案にかかる電熱調理具においては、使用するなべ等から煮汁等の液体が噴きこぼれることがあっても、それらは直接に電熱線や電源接続部に触れることがなくなるから、短絡事故、ひいては、発火事故、感電事故等が防止される。

【考案を実施するための最良の形態】

【0009】

電熱調理具を、4本の連結脚を備えた円盤型の本体部と、本体部に設けた電熱体と、連結脚を通じて電熱体に給電する電気回路とを具備する電熱装置と、
 電熱装置を支持するため、相対向して設けられる1対の台座とにより構成する。

20

【実施例1】

【0010】

図1は、本考案装置の1実施例を示す立体分解図、図2はその組み立て状態を示す斜視図、図3はその上面図、図4は湯沸しを乗せ、湯を沸かす状態を示す斜視図、図5は深鍋を載せて煮炊きをする場合を示す斜視図である。

【0011】

而して、1及び2は、一对の台座、3は電熱装置である。

【0012】

台座1、2は、対を成して設けられ、相対向する位置で、電熱装置3を挟み、支持するものであり、それぞれ、支脚10、20、中台11、21、連結壁12、22、天板13、23、電熱装置支持部14、24から成り、さらに、一方の台座2は、通電スイッチ25、表示ランプ26、ケーブル27及び図示されていない給電回路を備える。

30

【0013】

電熱装置3の本体部31は、円盤型であり、図示されていないが、その下面には4本の取付脚が設けられており、これらの取付脚を、台座1及び2に設けた円筒状の電熱装置支持部14、24に設けた取付孔に挿入することにより、本考案の電気調理器が組み立てられる。

【0014】

電熱装置3の本体部31は、電熱線などの発熱体を含み、この電気調理器が組み立てられたときは、ケーブル27から通電スイッチ25を介してこの発熱体に給電を行い得る電気回路が形成される。

40

【0015】

台座1及び2の支脚10及び20は、それぞれ各台座の両端部にあり、組み立て状態では、図2に示すように、相手台座の支脚の延長面に位置し、調理器を確実に保持する。

【0016】

支脚の間にはいずれも扇形の中台11、21、天板13、23が設けられ、これらは円筒セグメントからなる連結壁12、22で連結される。

中台11及び21の上面は、電熱装置の本体部31の上面と同じ高さか、少し高い位置に位置する。

50

【0017】

この調理器の使用状態は、図4及び図5に示されている。

図4は、湯沸かしを載せた状態を示すものである。熱湯が蓋を押し上げて噴出したり、注ぎ口から噴き出したりしても、それらは電熱装置の本体部31や、スイッチ25などの電気配線に触れることはない。

【0018】

図5は、深鍋で煮物をする例であり、煮汁が噴きこぼれたとき、その煮汁は、中台の上か、調理器が置かれている

【産業上の利用可能性】

【0019】

本考案によるときは、噴きこぼれが生じたときも安全な電気調理器を提供できる。

【図面の簡単な説明】

【0020】

【図1】本考案に係る装置の立体分解図である。

【図2】図1に示した装置の組み立て状態を示す斜視図である。

【図3】図1に示した装置の上面図である。

【図4】湯沸しを乗せ、湯を沸かす状態を示す斜視図である。

【図5】深鍋を載せて煮炊きをする場合を示す斜視図である。

【図6】公知の電熱調理器の使用状態を示す説明図である。

【図7】公知の電熱調理器の使用状態を示す説明図である。

【符号の説明】

【0021】

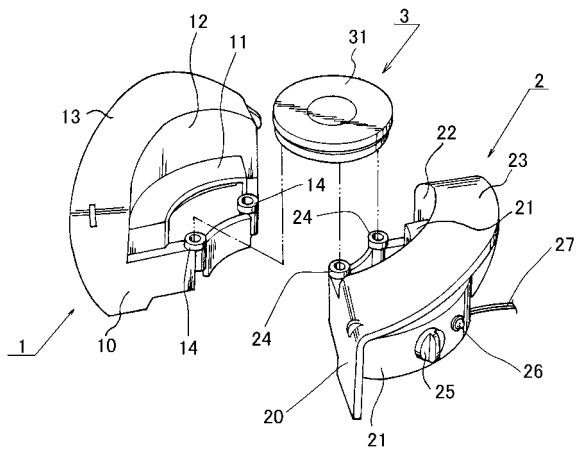
- 1 台座
- 10 支脚
- 11 中台
- 12 連結壁
- 13 天板
- 14 電熱装置支持部
- 2 台座
- 20 支脚
- 21 中台
- 22 連結壁
- 23 天板
- 24 電熱装置支持部
- 3 電熱装置
- 31 本体部

10

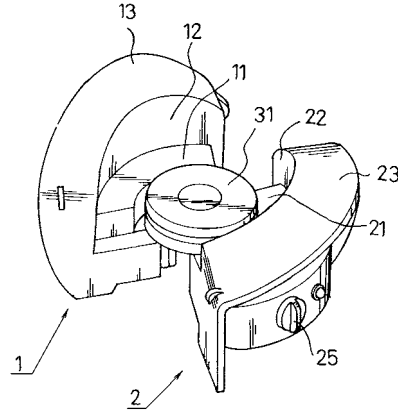
20

30

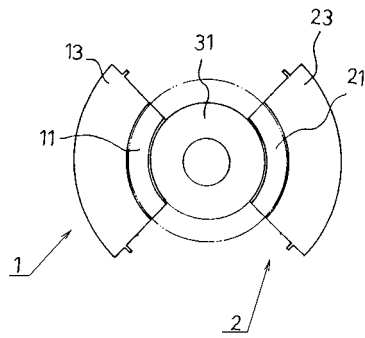
【 図 1 】



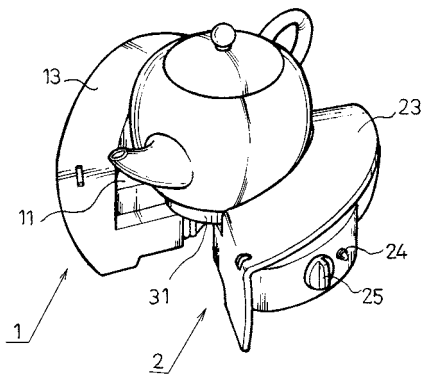
【 図 2 】



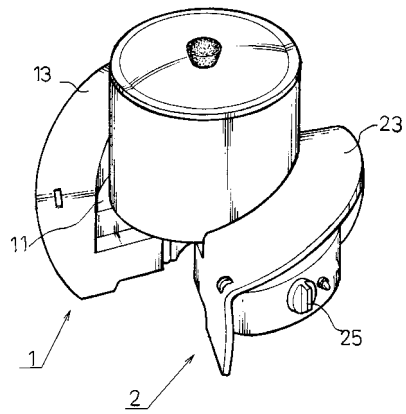
【 図 3 】



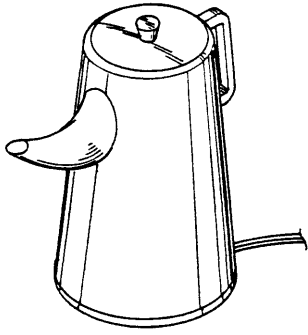
【 図 4 】



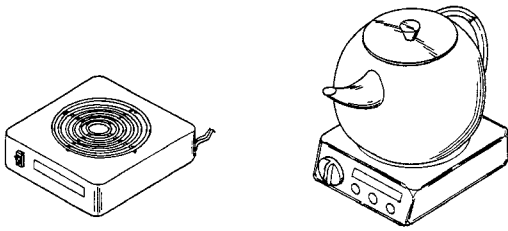
【 図 5 】



【 図 6 】



【 図 7 】



フロントページの続き

【要約の続き】
を特徴とする電熱調理器。

【選択図】図1